

18. (Gno.42) 21 世紀におけるコーポレート=ガバナンスの在り方 (21 世紀コーポレート・ガバナンス研究会)

代表：大杉 謙一

2000/02/12 (承認) 2000 年度 (開始)

【研究の目的】

構造不況と不祥事の続発の中で、グローバルな国際化と自由化を迫られている日本の企業は来るべき 21 世紀に、いかなる経営組織を持つべきか、継続的な分析と提言を行いたい。

【研究活動及び成果】

総括

コロナ禍の影響で研究会を開催することや報告者を募ることが困難となり、オンライン会議で夏休みに 1 回の研究会を開催することで手いっぱいであった。

学会発表

私法学会等の多くがコロナ禍の影響で中止・延期とされたこともあり、学会発表は 0 件となった。

学術雑誌

丸山 秀平「ドイツにおける公益的有限会社の商号登記について」『中央ロー・ジャーナル』17 巻 2 号 (2020 年 9 月)

丸山 秀平「判例研究 ドイツにおける公益的有限責任事業会社の「gUG」という商号登記の認容」『中央ロー・ジャーナル』17 巻 3 号 (2020 年 12 月)

大杉 謙一「上場会社はどのように機関設計を選択しているのか」『旬刊商事法務』2229 号 (2020 年 4 月)

廖 海濤「アメリカにおける取締役の信認義務に関する一考察」『比較法雑誌』54 巻 4 号 (2021 年 3 月)

口頭発表

2020 年 8 月 廖 海濤「アメリカにおける取締役の信認義務に関する一考察」(日独会社法グループとの共同開催)